

# デザインテーマジェネレータ

デザインテーマ一覧

デザインテーマジェネレータについて

# デザインテーマジェネレータ 1

## 「デザインテーマの一覧」

◇デザインテーマの一覧表示画面です。

管理画面の「デザインの設定」メニューで開く画面です。  
現在のサイトで利用可能なテーマの一覧が表示されます。  
この一覧はプレビュー権限のみで閲覧可能です。

「ジェネレータを開く」をクリックすると別ウィンドウでデザインテーマジェネレータを開きます。  
デザインテーマジェネレータの利用には、デザイン編集権限が必要です。

次のページからデザインジェネレータの各ステップを説明します。

The screenshot shows a sidebar menu on the left with the following items: インフォメーション, グローバルユーザ, サイトの情報, サイトの選択, サイトユーザの設定, デザインの設定 (highlighted), インデックスの設定, 承認ルール設定, 公開スケジュール, 編集直行. The main content area has a header 'デザインテーマの一覧' and a sub-header '登録されているテーマ'. Below this is a table with columns 'テーマ名', '作成日時', and '更新日時'. The table contains one row with the theme 'default\_A', created on 2009-12-01 at 21:11:43, and updated on 2009-12-01 at 21:11:45. Below the table, it shows '1 ~ 1件 / 全 1 件' and a button 'ジェネレータを開く'.

テーマ名	作成日時	更新日時
● default_A	2009-12-01 21:11:43	2009-12-01 21:11:45



◇デザインテーマジェネレータの開始画面です。

1) ジェネレータ画面では常に左端に「ステップボタン」が表示されています。

上から順に、グリッド、レイヤ、ブロック、スタイル、アレンジ、そしてデータの読み込み・保存を行う各ステップへ移動します。。

デザインテーマの編集を開始するとまずグリッド設定へ進みます。デザインテーマの編集時、各ステップ間の移動は自由です。確認したり修正したりしながら作業を進めることができます。

ボタンの表示が淡くなっている時は移動できません。

2) 作成されているテーマの一覧です。

3) 一覧で選択した内容の詳細を表示します。

「新しいテーマ」を選択している場合は、新規のテーマを作成することができます。既存のテーマを選択した場合は、テーマ毎のプロパティの編集とテーマの削除ができます。

「このテーマを編集する」から、いよいよジェネレータの開始です。

※ご注意ください

現在、自動保存が実装されていません。

編集中にブラウザを閉じてしまったり、セッションが途切れてしまうと編集中のデータは消失します。

適度な間隔で保存して下さい。

# デザインテーマジェネレータ 3 「グリッドの設定」

**G Grid**

グリッドを設定します。  
デザインの基準の単位になります。

編集中のテーマ: **新しいテーマ** ①

参照データ	グリッド数 / 全体サイズ	②
テーマの初期値	16 / 1088px	>>
(参考)16段中央配置	16 / 1088px	>>
(参考)12段中央配置	12 / 816px	>>

現在のグリッドを参照に追加する

**保存されるグリッドの値**

全体の横幅	1088
グリッド数	16
グリッド幅	52
グリッド間	16
縦グリッド	40
縦グリッド間	16
段の情報	非表示

③

④

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
16 = 1088 ( 1072 ) px									
15 = 1020 ( 1004 ) px									
14 = 952 ( 936 ) px									
13 = 884 ( 868 ) px									
12 = 816 ( 800 ) px									
11 = 748 ( 732 ) px									
10 = 680 ( 664 ) px									
9 = 612 ( 596 ) px									
8 = 544 ( 528 ) px									
7 = 476 ( 460 ) px									
6 = 408 ( 392 ) px									
5 = 340 ( 324 ) px									
4 = 272 ( 256 ) px									
3 = 204 ( 188 ) px									
2 = 136 ( 120 ) px									
1 = 68 ( 60 ) px									

◇グリッドの編集画面です。

1) 現在編集中のテーマの名称です。すべてのステップで表示されます。

2) 編集中のテーマの初期値と参考になる設定値のリストです。現状の値を追加することもできます。このリストは確認用のものです。

テーマジェネレータでは、常に現状の値が保存対象になります。

3) 編集時=保存されるグリッドの値を表示しているパネルです。数値の編集もこのパネルで行います。全体の横幅はグリッド数などから自動算出されるため、編集できません。

4) グリッドのプレビューです。赤い帯は各段の目安の数値を表示しています。

# デザインテーマジェネレータ 4 「レイヤの設定」

## Layer

レイヤを設定します。  
コンテンツを含むメインレイヤ以外は使用にできません。  
ID名は、スタイルシートにも反映されます。  
※初期値のままでもOKです

編集中のテーマ： 新しいテーマ

レイヤ名	使用	CSS ID名
背面レイヤ	<input type="checkbox"/>	backlayer
ラップレイヤ 5層目	<input type="checkbox"/>	wraplayer4
ラップレイヤ 4層目	<input type="checkbox"/>	wraplayer3
ラップレイヤ 3層目	<input type="checkbox"/>	wraplayer2
ラップレイヤ 2層目	<input type="radio"/>	wraplayer1
ラップレイヤ 1層目	<input type="radio"/>	wraplayer
メインレイヤ	<input checked="" type="radio"/>	mainlayer
前面レイヤ	<input type="checkbox"/>	frontlayer

タグ構造を確認する

2

```
<body>
  <div id="wraplayer1">
    <div id="wraplayer">
      <div id="mainlayer">
        コンテンツ
      </div>
    </div>
  </div>
</body>
```

3

◇レイヤの編集画面です。

レイヤは、HTMLの基本構造です。

- 1) レイヤの一覧です。  
メインレイヤ以外のレイヤは使用にできません。1～2階層のラップレイヤを利用すると背景を設定しやすくなります。
- 2) 関係を示した模式的なプレビューです。
- 3) 実際のタグ構造を示しています。1で編集したID名の反映を確認してください。

# デザインテーマジェネレータ 5 「ブロックの設定」

**Block**

ブロックを設定します。  
必要なブロックの組み合わせでセットを作り、アレンジで  
選択します。

編集中のテーマ：新しいテーマ

ブロックの追加

名称	CSS ID名	プレビュー
header	header	隠す
title	title	隠す
maingroup	maingroup	隠す
leftgroup	leftgroup	隠す
side	side	隠す
pop	pop	隠す
main	main	隠す
sub	sub	隠す
footer	footer	隠す

[プロパティ] ブロック

名称 sub

CSS ID名 sub

フロート left

position relative

overflow hidden

width 4

height 4

min-height

top auto

right auto

bottom auto

left auto

z-index

親グループ maingroup

[ブロックセット]

set\_0 すべて表示 このセットで表示

set\_1 ブロックセット-1 更新 削除 このセットで表示

現在の表示でセットを追加

◇ブロックの編集画面です。

ブロックはすべてメインレイヤ内に納められます。グリッドに則ってページをレイアウトする鍵となる要素です。

1) ブロックの一覧です。  
名称は編集のためのものです。日本語でわかりやすくつけることができます。  
CSSのID名も自由につけることができます(もちろんHTMLやスタイルシートのルールに準拠してください)。  
CSSのID名は後からつけ直してもシステムが追従してサポートします。

2) ブロックのプロパティです。グループを選ぶことで入れ子構造を作成できます。  
※ブロック同士は決して入れ子になりません。

3) プレビューです。レイアウト変更はこちらで行います。

4) アレンジで選択可能な使用するブロックの組み合わせのリストです。

# デザインテーマジェネレータ 6 「スタイルの設定(1)」



◇スタイルの編集画面です。

文字通りスタイルシートの編集を行います。

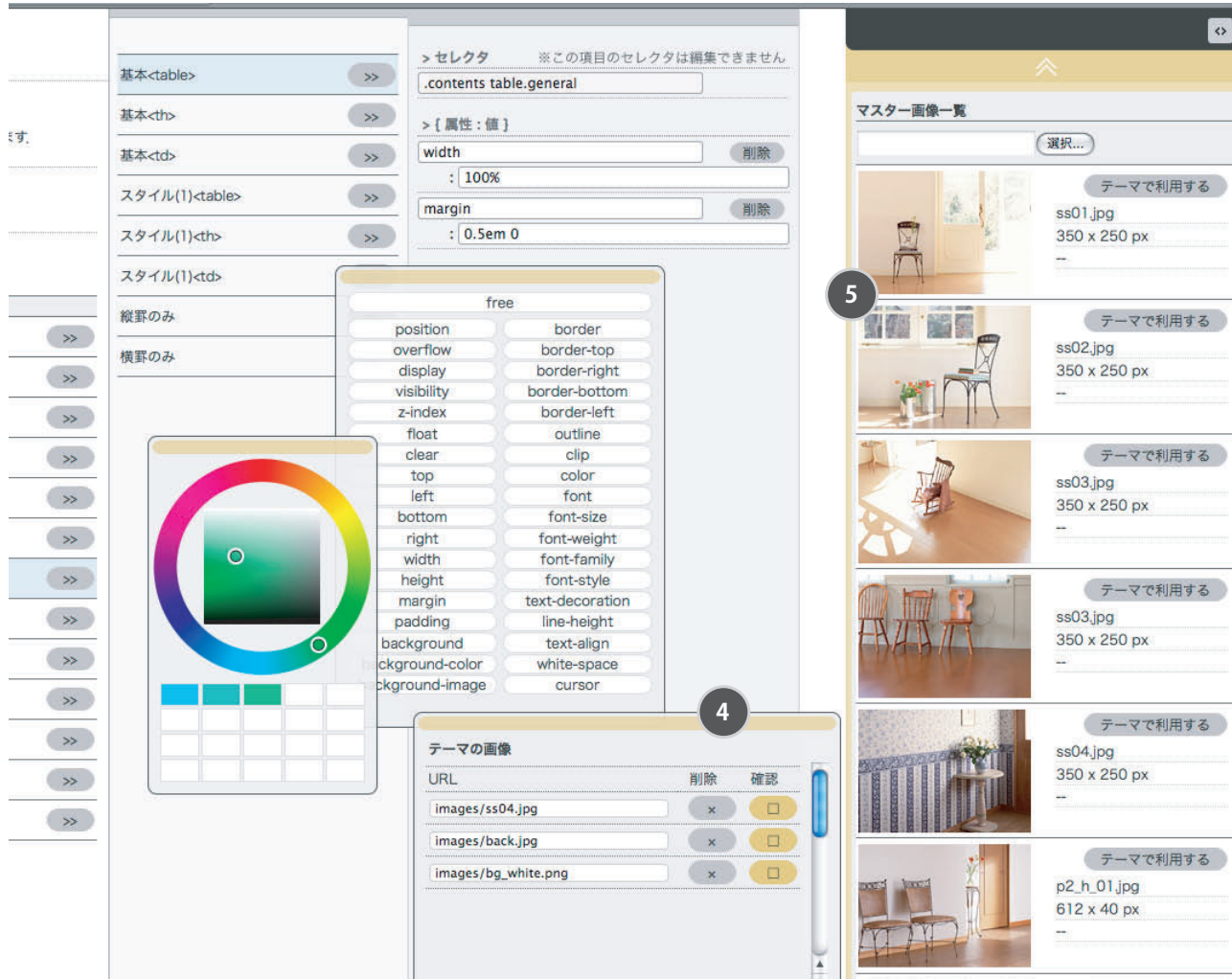
1) テーマとして用意されている要素の一覧です。  
一番左が項目、中段が詳細、右が実際のスタイルになります。

2) カラーピッカーです。色の要素の設定に利用できます。

3) スタイルシートの属性（プロパティ）リストです。ここから属性を追加できます。値が固定値を取る属性では、値はセレクトになります。

画像の利用について、次ページへ続きます。

# デザインテーマジェネレータ7 「スタイルの設定(2)」



◇スタイルの編集画面のつづきです。

4) テーマで利用できる画像の一覧です。このリストに追加された画像は、theme.css と同階層の images/ に収納されます。

5) 登録済みのマスター画像一覧です。まず画像をマスター登録して、それをテーマで利用するシステムになっています。

# デザインテーマジェネレータ 8

## 「アレンジの設定」

**G Arrange**

アレンジを設定します。  
アレンジで使用するブロックセットを選択します。

編集中のテーマ：新しいテーマ

アレンジの追加

アレンジ名	ブロックセット
arrange_0	すべて表示 >>
arrange_1	現在の表示 >>
arrange_2	現在の表示 >>

◇アレンジの設定画面です。

アレンジの目的は、表示するブロックの取捨選択とテーマで設定したスタイルの上書きです。  
アレンジはページ毎に選択できます。

# 「デザインテーマの保存」



◇テーマの保存画面です。

編集してきたテーマを保存します。

保存される内容は、各ステップの現行の値です。